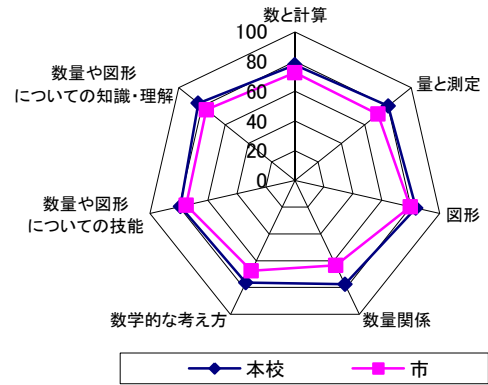


宇都宮市立今泉小学校 第5学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	77.8	72.5
	量と測定	80.3	71.5
	図形	83.5	79.6
	数量関係	77.6	63.5
観点別	数学的な考え方	76.4	67.6
	数量や図形についての技能	79.0	75.1
	数量や図形についての知識・理解	83.2	76.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> 市の平均正答率と比べ正答率は高く、比較的よく理解できている。小数の乗法・除法、小数のしくみ、分数の加法・減法などの技能は定着していることがうかがえる。しかし、整数÷小数の商と余りを小数点の位置を含めて正しく求める問題と、文章問題を解くための小数の除法の立式の問題に誤答が多く見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くが1学期の内容であったため、記憶があいまいな児童が少なくなかったようである。今後も意識的に復習するなど、定着が図れるようにしていきたい。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に正答率は高く、よく理解できている。体積や平均を求める問題についてはよく理解できているが、単位当たりの大きさを求める問題での誤答が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 単位当たりの大きさでは、「もとにする量」「比べられる量」があいまいになってしまう児童がいる。同じような問題を繰り返し解くことで、定着を図っていきたい。
図形	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に正答率は高く、よく理解できている。合同な図形の性質や三角形・四角形の角についてもおおむね理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 図形については苦手意識を持つ児童も少なくないが、少人数指導やT・Tにより一人一人の見取りしっかりできたことが、高い正答率につながったと思われる。今後も継続して指導していきたい。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> 市の平均正答率と比べ正答率は高く、比較的よく理解できている。計算のきまりを小数に拡張することは、多くの児童ができています。伴って変わる二つの数量の関係を式に表す問題に、やや誤りが多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 表をかいたり、読み取ったりする活動を十分おこない、生活の場面と結びつけるなど工夫しながら、定着を図ってほしい。